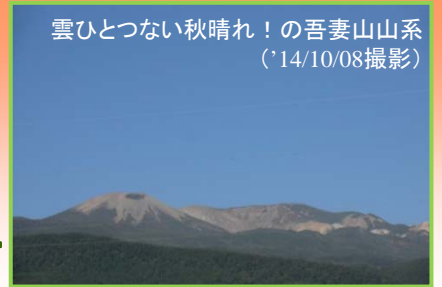


吾妻山砂防通信

雲ひとつない秋晴れ！の吾妻山山系
(14/10/08撮影)



第39号

土砂災害に備えて — 福島市総合防災訓練 —

10月18日(土)、信夫ヶ丘緑地公園及び福島第三中学校を会場として、福島市総合防災訓練が開催され、当出張所も参加しました。

今年度の訓練は、福島県沖で発生したマグニチュード8.0の地震により、市内の多くの家屋が倒壊するとともに、各地で起こった土砂災害により孤立地域が発生している、と想定。当出張所は、JAFや消防と連携し、被災箇所への進入路確保のための障害物除去訓練を行いました。

また、展示コーナーの一角で、土石流模型実験を実施。訓練に参加した地域住民のみなさんや、関係機関の方々に見学していただき、「実際に目にすると土石流の怖さがよくわかる。」との感想もいただきました。



(写真下) 土石流模型実験の様子。
中央に写っているのは、小林福島市長と
永尾福島河川国道事務所長。



(写真上) 障害物が除去された
進入路から消防や自衛隊
等が被災箇所へ到着。
要救助者を救助しました。

国土交通省によるガレキ
除去(写真上)とJAFによる
走行不能車両の除去(写真右)。



土石流模型実験は、吾妻山山系砂防出張所内でも見学
することができます(要・事前申込)。

申し込み・お問い合わせは、

[吾妻山山系砂防出張所\(電話:024-593-0831\)](http://www.city.fukushima.lg.jp) までどうぞ

9月5日

伊達市立
靈山中学校2年生



中学・高校生が「砂防」の仕事体験！

中学・高校生が、福島河川国道事務所それぞれ5日間の職場体験を行い、当出張所管内でも体験活動を行いました。

終了後、国土交通省の仕事にさらに興味をもった、という声をきくことができました。将来、一緒に働く仲間になるかも？期待しています！



9月12日

福島県立福島
明成高等学校2年生



安全パトロールを実施しました！

9月24日(水)、伏黒出張所と
合同で、職員及び管内工事・

業務等請負業者による安全パトロールを実施しました。

当日は、管内で施工している工事のうち2箇所の現場を点検した後、点検結果を踏まえ、評価すべき事項・改善すべき事項について検討会を行いました。

今後も「工事事故ゼロ」を目指し、
安全に工事を進めて参ります！



砂防を知ろう！

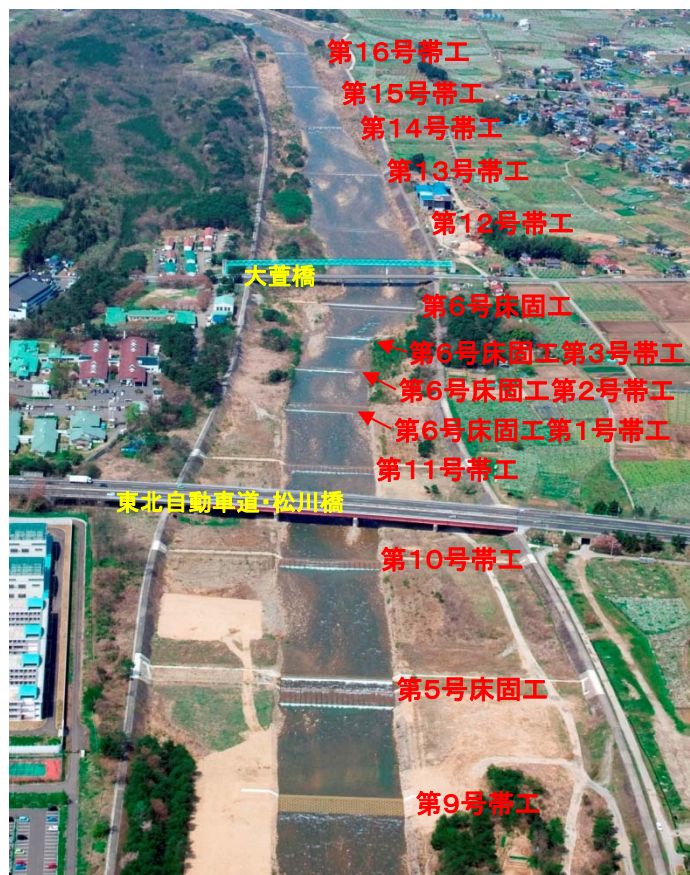
おすすめスポット③ 松川流路工 ここにも砂防施設が。

ご存知ですか？「流路工」。

勾配が急な河川では、大雨などの影響で水や土砂の流れる勢いが強くなると、川底や川岸が削られ、その削られた土砂が溜まって川底が浅くなり、少しの雨でも川の水があふれやすくなってしまいます。「流路工」は、堤防を守る「護岸」と、川を横断して設置する「床固(とこがため)工」や「帯工」という低い帯状の構造物を組み合わせて、川底や川岸が削られるのを防ぎ、安全な流れを保つことで、洪水氾濫を防ぎます。

福島市を流れる松川では、上松川橋から長老橋の間で流路工を整備しています。

前回ご紹介した「砂防堰堤」は河川の上流、山間部にあるものが多いのですが、松川流路工は、住宅地もすぐ近く。知らず知らずのうちに、目にされていた方もいらっしゃるかもしれませんね。



床固工



段差をつけることで川の勾配を緩くし、水の勢いを抑える。

帯工



水の勢いで川底がえぐられないように土砂を止める。

「流路工」は荒川にも！

土湯温泉街に位置する「荒川流路工」は、管理用通路の一部を一般開放しており、「荒川せせらぎロード“ゆ〜ろ”」の愛称で親しまれています。

このたび、公衆浴場「中之湯」脇に加え、旧「土湯温泉ホテル」前にも「ゆ〜ろ」への階段を設置しました。

温泉街での散策に、どうぞご利用ください。



(写真左)新しい階段を利用して、散策を楽しむ観光客のみなさん。

(写真上)「中之湯」脇の階段には、看板も設置しています。大きなこけしが目印です。

お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想

・砂防に関すること)

模型実験見学受付中！

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

TEL 024-593-0831

◆福島河川国道事務所HP(<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>)も是非ご覧下さい◆

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207